

～早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム主催・株式会社島津製作所 共催～
早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム 企業見学会&逢坂教授出張講演会
実施報告書

1. 日 時：2014年 12月 5日(金) 13:00～18:00
2. 見学先企業：株式会社島津製作所 本社 三条工場（京都府京都市中京区西ノ京桑原町1）
3. 講演 会場：株式会社島津製作所 本社 新本館 A ホール
4. 講演 1 テーマ：『産学連携によるナノ・バイオ・エネルギー拠点形成』
講演者：逢坂 哲彌 教授（早稲田大学 先進理工学部応用化学科 兼
ナノ理工学研究機構 機構長）
5. 講演 2 テーマ：『基盤技術研究所での産学官連携への取り組み～質量顕微鏡・iMScopeの開発～』
講演者：小河 潔 様（株島津製作所 基盤技術研究所先進技術開発室 室長）
6. 実施内容：
 - 13:00 開会の挨拶、スケジュール説明：尾島浩幸
（早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム事務局長）
 - 13:10 株式会社島津製作所 本社 三条工場 見学：分析計測工場、モノづくりセンター
 - 15:00 休憩
 - 15:20 講演 1 『産学連携によるナノ・バイオ・エネルギー拠点形成』
：逢坂哲彌 教授（早稲田大学）
 - 16:10 講演 2 『基盤技術研究所での産学官連携への取り組み～質量顕微鏡・iMScopeの開発～』
：小河 潔 様（島津製作所）
 - 16:50 閉会の挨拶：杉本典史 様（株島津製作所 分析計測事業部 官庁大学営業部 部長）
 - 17:00 意見交換会（会場：同ホール前オープンスペース）
 - 18:00 終了
7. 参加者数：見学会 15名、講演会 30名
8. 参加対象者：見学会…ナノテクフォーラム会員、早稲田大学関係者（教員、学生、事務局）
講演会…上記見学会参加者に加え株島津製作所より参加希望者
9. ナノテクフォーラム事務局からの参加者：3名（尾島、松原、菊地）

10. 報告事項（事務局記載）

（1）見学会について

今回は株島津製作所様のご協力により三条工場で取り扱う主力製品でもある分析機器（高速液体クロマトグラフ、電子線マイクロアナライザ等）とプリント基板の生産ラインを見学させていただきました。最先端の分析計測技術を誇る会社での現場を直接見学できたことは、ご参加いただいた異業種他社の方や本学研究者にとっても、良い機会であったかと思われまます。企業の方としては違った視点で捉え、新たな事業構造を作り出せるきっかけとなれば良いと願っております。また島津製作所様にとっても、敷地内に同社員以外の方が訪問することにより、別視点からの声を聞く良い機会となったのではとも思われまます。

(2) 講演会について

今回の講演会は、2つとも産学連携での取り組み紹介を含めた内容でした。逢坂教授による講演会においてはナノ・バイオ・エネルギー産業の現状と日本製品の世界市場での位置付けや、本学にて新設する電池ビル「スマートエナジーシステム・イノベーションセンター」など産学官連携での成功例などお話いただきました。また小河様による講演会においても、産学連携にて製品化された内容紹介をしていただくなど、参加した企業の方にとって大学との連携の活用や、本学研究者にとっては企業と連携するメリットを探る良い機会のようにも思えました。

(3) 全体を通して

当フォーラムイベントとして関西地区での開催では初めての試みではありましたが、(株)島津製作所様からのご尽力もあったこともあり無事終了することができました。大学-企業、企業-企業、という横のつながりを大切に、お互いに意見を交換し合う良い機会であり、今後より一層「会員企業間の相互訪問」を充実させ交流を深めていきたいと思えます。

また、異業種他社と本学研究者を対象とした企業見学会の実施は第2回目ということもあり、事務局運営においても課題が見出されました。「相互に競合関係にある会員企業に対する見学への対応」「参加できなかった会員企業に対してのフォロー」「同時に開催する講演会の意義」「参加した学生に対しての企業との相互メリット」など、今後の本事業発展のためにも当フォーラム事務局でのガイドライン策定し見直していく必要があるようにも考えられます。

1.1. 参加者からのご感想

(1) 講演会について

- ・日本の技術が世界的にも優れており、先頭を走っているがこれを維持していく事が大変重要であることが分かりました。
- ・早稲田大学の研究は範囲が広く産業界とマッチングするのにより良いコーディネーターがもっと必要と感じました。
- ・島津様の産学共同研究は質の高い成果を生んでいるように感じられました。
- ・企業と大学の接点をもつことは大変良い事と感じました。
- ・先端の技術・動向・機器についてお話を聞け、とても有意義でした。
- ・ナノテクノロジーフォーラムの発展に繋がる講演でした。
- ・最先端の研究の話が聞けて良かったです。
- ・早稲田大学では拠点としての取り組みをしており、弊社としても違う分野面のから活用方法連携方法を探っていきたいと思えます。
- ・特にバッテリー関連の内容を把握できました。
- ・産学連携の形態には様々あるという事に気付かされました。
- ・分析機器の開発の流れを聴く機会があり良かった。
- ・今後の研究の動きが参考となり、ベンチャーの支援の参考にしたいです。

(2) 全体を通して

- ・島津様の見学会も含め大変有意義な会でした。
- ・開催場所の問題か参加者が少なく残念でありました。今後も今回のような開催をお願いします。
- ・スケジュールも丁度良く、楽しく見学できました。
- ・工場の生産ラインも見学できて参考になった。

1 2. ㈱島津製作所様からの感想

(1) 今回の見学会および講演会へのご意見・ご感想をお聞かせください。

遠方から皆様にお越し頂き限られた時間の中で、ライフセンシングからリチウムイオンバッテリーまで幅広くご講演頂き、電気化学という側面からナノテクノロジーの大きな可能性を学ぶことが出来ました。

(2) 今回は貴社としてのメリットがありましたか。もしメリットがありましたら差支えなければご記入をお願いします。

弊社からも技術を中心に参加させて頂いたのですが、逢坂先生のご講演を拝聴でき、また並びに懇親会において早稲田大学のナノテクフォーラムの皆様から多くの知見を得られる機会となりました。また参加企業の方々とも、活発な意見交換をさせて頂く事が出来ました。誠にありがとうございました。

(3) また、全体のスケジュールや講演内容やナノテクフォーラム事務局の運営などでお気付きの改善すべき点がありましたか。もしありましたらその内容をお教えてください。

ありません。遠い所ご足労頂き、誠にありがとうございました。